

主要施策の概要

身を切る改革を始めとした市役所改革・運営形態の見直しの実行

認定こども園への移行に向けた改修



■ 予算額▶1億8800万円

新MOS計画に基づき、令和6年4月の箕面市立かやのこども園オープンに向け、現かやの幼稚園を改修します。

自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)の推進

■ 予算額▶1億2800万円

オンライン手続きの拡充や市役所窓口、公共施設予約での手数料等の支払いにおいてもキャッシュレス決済に対応するとともに、GISを活用した都市計画や道路などの地図情報を公開するシステムの導入など、市民の利便性向上や効率的な行政運営を行います。

大いなる箕面観光の復活

■ 予算額▶1億円

①箕面観光戦略の推進

観光協会等と連携・協働し、「公民連携箕面観光戦略会議」により策定された「箕面観光戦略」のアクションプラン(重点施策)の実現を図り、大いなる箕面観光の復活をめざします。



→箕面の魅力を紹介する映像コンテンツを制作し、国内外に向けて発信しています



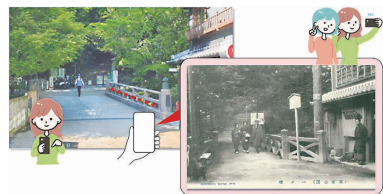
②ハイキングコース等のルートの設定とマップ制作

本市の観光資源、地域の魅力を全国に情報発信することを目的に、令和6年度にジャパンエコトラックに登録します。新年度は新たなハイキングコースやサイクリングコースを設定し、マップを制作します。

③箕面滝道

ワンウェイ観光の定着

「箕面・紅葉狩りバスツアー」「箕面開運めぐり」等に引き続き取り組みます。また、かつての箕面の姿を再現する箕面口マン体感周遊ARアプリを開発します。



このほか ふるさと納税制度を活用した市の魅力発信、企業版ふるさと納税の活用などに取り組みます。

住民目線に寄り添って直ぐ動き、日本一親切的な市役所

プレミアム付商品券の発行

■ 予算額▶7500万円



プレミアム付商品券「小さなお店応援チケット」第5弾、第6弾を発売し、市内の中小企業者・小規模事業者、市民に対して、切れ目のない支援を行います。

障害者自立支援センターあかつき園の建替え基本計画の策定

■ 予算額▶300万円

昭和53年の開設から44年が経過し、建物の老朽化が著しいあかつき園を建替えるため、各当事者団体のご意見をお聞きしながら、全体構想を示す基本計画を策定します。



新市立病院の整備

■ 予算額▶1億5800万円

①新市立病院の建替え・移転、指定管理者制度の導入

新市立病院では、現状の診療科構成を基本としたうえで、呼吸器・免疫内科、腎臓内科、放射線治療科の新設など診療体制の充実をめざしており、また、将来の医療需要等に対応するためには、最大で400床の確保が必要です。そのためには、病院の再編統合の制度を活用する必要があり、その実現可能性と市の財政負担軽減の観点から、指定管理者制度を導入します。

今議会に、指定管理者制度導入に伴う「箕面市病院事業の設置等に関する条例」の改正を提案し、新年度は指定管理者の公募及び選定手続きを行います。

新市立病院の建替え・移転については、令和7年度着工、同9年度中の開院をめざします。

②新市立病院周辺の整備

令和9年度中の新市立病院開院に向けて、新市立病院建設にかかる周辺まちづくりの整備(周辺道路付替工事・周辺建物解体工事)を行います。



このほか 救急車への自動心臓マッサージ器の搭載、犯罪被害者支援などに新たに取り組みます。

新年度も「身を切る改革を始めとした市役所改革・運営形態の見直しの実行」「住民目線に寄り添って直ぐ動き、日本一親切的な市役所」「みどり豊かで住みたい、子育て・教育日本一のまちづくり」の3つの基本姿勢により、さまざまな取組を進めていきます。

ここでは、その中でも重点的に取り組む事業を予算額とともにご紹介します。

みどり豊かで住みたい、子育て・教育日本一のまちづくり

1 みどり豊かで住みたいまちづくり

北大阪急行線の延伸開業

■ 予算額▶73億7700万円

①北大阪急行線延伸開業

箕面萱野駅上屋の建築工事など着実に準備を進め、令和5年秋頃からは、延伸線の試運転を実施し、新年度末、北大阪急行線は延伸開業します。



②北大阪急行線の延伸開業に向けた機運醸成

北大阪急行電鉄と連携し、今夏から本市の四季の魅力を施したラッピング車両を既存の地下鉄御堂筋線で走らせます。また、市民を対象とした線路ウォーク等、開業前しかできないイベントを開催し、延伸開業に向けて機運を醸成します。

開業時には、鉄道開業式典と合わせ、全市を挙げて祝賀イベントを開催します。

このほか 公園の遊具やトイレのリニューアルを引き続き実施するほか、新たな消防署開設に向けた用地確保に取り組みます。

2 子育て・教育日本一のまちづくり

教育専門監の追加配置

■ 予算額▶2400万円

授業力や教員への指導力が傑出している教育専門監を、現在の2名から5名に増やし、教員の資質向上を図ります。

学習系・校務系統合システムの構築

■ 予算額▶4億2300万円

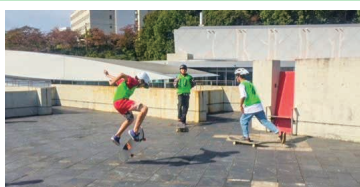


教職員が利用する学習系端末及び校務系端末を統合した2 in 1端末を導入し、いじめなど緊急を要する情報等の迅速な共有や、業務効率の大幅な向上を図ります。

スケートボードパーク等の整備

■ 予算額▶2億4800万円

スカイアリーナの西側隣接地を新たに取得し、約1000㎡のスケートボード場と、約30台分の駐車場を整備します。



このほか 民間プールを活用した事業実施校の拡大、児童数増に対応するための萱野東小学校増築などに取り組みます。

箕面船場地区における「健康寿命の延伸・ヘルスケア推進拠点」のまちづくり

■ 予算額▶500万円

大阪大学、大阪船場繊維卸商団地協同組合との連携による「(仮称)箕面船場大ヘルスケア総合センター」整備の実現に向け、新年度は、全体の構想を示す基本計画を作成します。



大阪・関西万博の機運醸成

■ 予算額▶100万円

TEAM EXPO2025プログラムの共創パートナーとして、大阪・関西万博を盛り上げます。「箕面万博・箕面EXPO」と銘打ち、箕面市全体を会場として見立て、民間が行うイベントにも「箕面万博」のタイトルを追加し、賑わいの創出やSDGsの推進に取り組みます。

市道箕面今宮線の歩道整備

■ 予算額▶1億4900万円

箕面今宮線の北小学校南側付近の区間約230mにおいて、同路線の車道を幅6m、両側に幅1.5m以上の歩道を引き続き整備し、歩行者・車両通行の安全を確保します。

支援教育の充実

■ 予算額▶4200万円

支援教育の充実のため、通級指導担当教員を加配し、全ての小中学校に通級指導教室を設置します。

部活動改革の推進

■ 予算額▶900万円

休日部活動の地域移行について、先行実施したモデル事業の課題や成果を踏まえつつ、硬式テニス部とソフトボール部を全校実施するほか、現在、市内中学校で活動している部活動全種目についてもモデル事業を実施するなど、本格実施を見据え、試行と検証を行います。

青少年教学の森野外活動センターと箕面新稲の森のグランドオープン

令和4年7月に一部オープンした、青少年教学の森野外活動センターが全面改装を終え、整備中である新稲の森のオートキャンプ場と併せてグランドオープンします。

